

危機管理課

○ 防災関係

1 災害対策本部関係

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 9回

設置年月日	注意報・警報名
27. 5. 12	暴風警報
27. 7. 16～7. 17	大雨警報
27. 8. 17	大雨警報
27. 8. 25～8. 26	大雨、洪水警報
27. 8. 29	大雨、洪水警報
27. 9. 8～9. 9	大雨、暴風、洪水警報
27. 9. 9	大雨警報
27. 9. 17	大雨警報
27. 9. 18	津波注意報

(2) 被害状況（非住家を除く）

年 月 日		27. 8. 25 ～ 8. 26	27. 9. 8 ～ 9. 9	27. 12. 11（注）
家 屋	全 壊	—	—	—
	大規模破損	—	—	—
	半 壊	—	—	—
	床上浸水	—	11	—
	床下浸水	1	43	—
	一部破損	2	1	14
	一部被害	2	2	6

（注）警報発表がなく災害対策本部は設置していないが、強風による被害あり。

2 自主防災隊補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

(1) 自主防災組織結成数 127隊

(2) 訓練助成金 95件 2,850,000円

(3) 防災補助金 128件 18,904,000円

ア 自治会 54件 8,599,000円

イ 自主防災組織 74件 10,305,000円

3 地域防災力向上支援事業

(1) 防災講習・防災講座の実施

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組みを促進するため、自治会、自主防災隊、企業及び小中学校等からの要請に応じ、防災講習や防災講

座を実施した。

- ア 実施回数 131回
- イ 参加人数 11,097名
- ウ 実施内容
 - ・緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
 - ・園児、児童、生徒等への防災教育
 - ・三重県防災啓発車による地震体験
 - ・災害時の避難行動訓練

(2) 地域防災マップ作成事業

地域住民が「わがまち」を認識し、災害に強いまちづくりを行うことを目的として、地域住民主体のタウンウォッチングを行い、避難経路等の情報共有を行うとともに、それらの情報を記載した防災マップを作成した。

作成実績 上地区会、城田団地自治会、栗野区、栗野団地自治会、中須区会、坂東自治会、川端町自治会

(3) 高齢者等宅家具固定事業

過去に発生した大規模な災害では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生した。その中でも、高齢者、障がい者などのかたが被災されるケースが多数見受けられたため、高齢者等を対象に家具固定事業を実施した。

- ア 件数 30件
- イ 実施期間 平成27年9月1日～平成28年1月29日

4 避難対策事業

(1) 伊勢市地域防災計画等改訂補助業務委託

既存の地域防災計画を見やすくスリム化する「整理」と地域防災計画及び災害時マニュアルを実行性のあるものにする「改訂」を、東日本大震災の教訓を基に平成25年度から着手しており、平成27年度に完了させた。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市 地内	(注1)、(注2) 伊勢市地域防災計画等改訂業務委託	地域防災計画の内容の大幅な見直し・充実 災害対応のフローチャート化	円 4,827,600	25.11.8	27.3.13 (検査日 27.4.30)
〃	伊勢市地域防災計画等改訂補助業務委託	地域防災計画の内容の大幅な見直し・充実 災害対応手順のチェックシート化	4,813,500	27.7.31	28.3.28

(注1) 平成26年度から繰越

(注2) 契約期間 平成25年度から平成26年度まで(平成26年度債務負担行為)

(2) 図上訓練の実施

南海トラフ地震や大規模水害に対応する、より機能的な災害対策本部体制の構築を目的として図上訓練を実施した。

第1回

- ア 実施年月日 平成27年6月1日（月）・平成27年6月2日（火）1日につき2回開催
- イ 受講者 ①82名②80名③76名④79名（部長級職員から一般職員まで）
- ウ 研修内容 内容 南海トラフ地震発生時の災害対応を図上訓練で体験した。
多くの職員に体験させるため、同じシナリオで受講者を入れ替え、4回実施した。
- 講評 三重大学 川口准教授
三重県防災対策部 防災企画・地域支援課 南専門員

第2回

- ア 実施年月日 平成28年1月27日（水）
- イ 受講者 124名（市長、副市長、部長級職員から一般職員まで）
- ウ 研修内容 内容 宮川破堤直前、宮川破堤3日後の2つの時間帯を図上訓練で体験し、宮川破堤3日後の訓練では市長が模擬記者会見を実施した。
- 講評 三重大学 川口准教授
人と防災未来センター 菅野研究員

(3) 津波避難訓練の実施

有緝・明倫・浜郷・四郷地区において、津波避難訓練を実施した。

- ・開催年月日 平成27年11月28日（土）
- ・参加者数 3,716名

(4) 女性の視点による防災対策検討委員会

東日本大震災での教訓の1つとして、女性の視点による防災対策の必要性が挙げられている。

平成26年度末に市役所内の様々な年齢、職種の職員による「女性の視点による防災対策検討委員会」を設置し研修会等を行った。平成27年度は研究や先進地の視察を行い、その取り組み成果を提言書として取りまとめ市長へ報告した。

- ・市長への報告会 平成28年3月30日（水）
- ・委員の視察

①平成27年11月21日（土）参加者：3名

視察先：静岡県地震防災センター

②平成27年12月10日（木）～12月11日（金）参加者：5名

視察先：静岡県三島市役所、東京都調布市役所、神奈川県茅ヶ崎市役所

③平成28年1月18日（月）～1月20日（水）参加者：4名

視察先：宮城県南三陸町ホテル観洋、南三陸町役場、塩釜市役所、エルパーク仙台、仙台市役所

5 備蓄物資整備事業

伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資及び資機材の整

備を図った。また、津波浸水区域内にある豊浜東小学校の防災倉庫の高所移転を行った。

(1) 備蓄物資・資機材購入

購入品目・数量		備蓄総量
クラッカー	7,140食	31,509食
飲料水	15,432本	160,244本
おかゆ	2,400食	3,700食
粉ミルク（アレルギー対応）	272缶	272缶
使い捨て哺乳瓶	2,070個	2,070個
おむつ（子ども用）	21,460枚	39,202枚
おむつ（大人用）	9,000枚	14,864枚
生理用品	14,190枚	74,946枚
アルミシート	19,600枚	20,800枚
ブルーシート	450枚	3,666枚
電気ポット	45台	45台
LEDランタン	138個	165個
備蓄ラジオ	90台	90台
やかん	90個	90個
屋内用テント	90張	90張
炊き出し用セット	9台	9台
折畳リヤカー	10台	45台
トイレ処理剤	41,000回分	168,284回分
簡易トイレ	76台	120台
トイレ用テント	89張	120張

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町地内	(注) 豊浜東小学校備蓄物資保管用教室パーティション設置工事	パーティション設置一式	円 1,166,400	27. 6. 26	27. 8. 28

(注) 建築住宅課施行

6 防災行政無線整備事業

緊急時、災害時における住民への適切な情報伝達体制の確立を図るため、防災行政無線の整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完成
伊勢市内地	(注) 防災行政無線アナログ戸別受信機用アンテナ撤去業務委託（その1）	外部アンテナ支持金具 同軸ケーブル 撤去	円 3,148,740	27. 2. 4	28. 3. 31

小 俣 町内 地	(注) 防災行政無線アナログ戸別受信機用アンテナ撤去業務委託(その2)	外部アンテナ支持金具 同軸ケーブル 撤去	円 6,205,680	27. 2. 4	28. 3. 31
楠 部 町 地内ほか	伊勢市防災行政無線(同報系)親局設備移設業務委託	伊勢市防災行政無線(同報系)親局設備移設 一式	24,804,360	27. 11. 24	28. 3. 15
今 在 家 町 地 内	高麗広地区戸別受信機及びアンテナ設置業務委託	戸別受信機及びアンテナ設置業務 一式	540,000	27. 12. 9	28. 3. 15
計	4件		34,698,780		

(注) 契約期間 平成26年度から平成27年度まで(平成26年度債務負担行為)

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
佐 八 町 地内ほか	(注) 伊勢市防災行政無線屋外拡声子局避雷針取付工事	避雷針取付 23か所	円 2,548,800	27. 9. 4	27. 10. 28
小俣町新村 地内ほか	(注) 伊勢市防災行政無線(デジタル同報系)屋外拡声子局増設工事	屋外拡声子局増設 7か所	34,020,000	27. 10. 30	28. 3. 15
計	2件		36,568,800		

(注) 建築住宅課施行

7 こどものための防災対策強化事業

子どもを災害から守るために必要な知識や備蓄のテクニックをハンドブックとして取りまとめ、妊婦から5歳児(未就学児童)の保護者を対象に配布した。(作成部数 9,000部)

今後は母子健康手帳交付時や転入時、赤ちゃん訪問、1歳6か月児健康診査などの機会に配布し啓発していく予定である。

施行場所	件 名	概 要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	子どもと保護者のための防災ハンドブック作成業務委託	ハンドブックの印刷用データ作成	円 3,017,520	27. 8. 5	27. 12. 28

8 伊勢市防災会議の開催

災害対策基本法の規定に基づき、伊勢市地域防災計画の修正等を行うため、伊勢市防災会議を開催した。

ア 開催年月日 平成28年3月22日(火)

イ 内 容 議事 地域防災計画の大規模改訂について
伊勢市水防計画の改訂について

報告 平成 27 年度の事業成果について
 伊勢市防災センターの概要と活用方針について
 伊勢市防災会議構成機関の災害時の対応
 伊勢市消防本部 : 緊急消防援助隊
 伊勢警察署 : 警察災害派遣隊
 第 33 普通科連隊 : 自衛隊

9 災害協定の締結

災害発生時に迅速な応急対策を行うため、民間事業所等と災害時の応援協定を締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
株式会社ZTV	27. 4. 13	災害時の放送に関する協定 「災害時の放送に関する協定」にかかる覚書 災害時の記録映像提供の協力に関する協定
一般社団法人伊勢薬剤師会	27. 4. 20	災害時における医療救護活動に関する協定書
有限会社三重高齢者福祉会	27. 4. 24	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定書
民間マンション所有者	27. 5. 12	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定
三重県	27. 5. 15	Lアラート(公共情報コモンズ)の運用に係る覚書
学校法人みどり学園 ゆたか幼稚園	27. 6. 19	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定書 「津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定」にかかる覚書
三重県トラック協会南勢支部	27. 7. 23	災害時における緊急物資輸送等に関する協定書
三和シャッター工業株式会社	27. 8. 21	災害時における応急対策の協力に関する協定書
伊勢市アマチュア無線災害ネットワーク	27. 10. 30	災害時における非常無線通信の協力に関する協定書
株式会社 かがせお	28. 2. 25	災害時等における避難所等要援護者の応急措置等に関する協定書

(注)平成27年度末の協定締結数 95件

10 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸の登録を募集し、水質検査を実施し8件を新たに登録した。平成27年度末で災害用民間井戸の登録総数は171件となった。

○ 防犯関係

1 伊勢市防犯推進協議会の活動

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

(1) 地域安全講習会の開催

平成27年4月17日から平成28年2月1日の間に、15回開催し、466名の受講者があった（対象は、自治会・老人会等）。

- 内 容
- ・防犯DVDによる啓発（振り込め詐欺、悪徳商法など）
 - ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況について
 - ・防犯アドバイザーによる地域の防犯対策について

(2) 街頭啓発活動の実施

平成27年4月15日から平成28年3月23日の間に、振り込め詐欺及び街頭犯罪被害防止啓発活動を26回実施した。

- 内 容
- ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員とチラシ、その他啓発用品等を配布し、啓発に努めた。

(3) 防犯情報による啓発

伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や振り込め詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、防犯メール登録者に配信するとともに、啓発に努めた。配信回数37回。

(4) 防犯モデル地区の指定

地域住民が防犯に対する理解と認識を深め、連帯意識を高めて、自主的な地域安全活動を推進できるようモデル地区を指定し、自主的な防犯活動の支援を行った。

- | | | | |
|------|----------------|------|----------------|
| 指定地区 | 川端町自治会、光の街区自治会 | 指定期間 | 平成26年度から平成27年度 |
| 指定地区 | 八日市場町会 | 指定期間 | 平成27年度から平成28年度 |

(5) 「伊勢市自主防犯団体連絡会総会」の開催

各自主防犯団体間の連携を強化し、さらなる資質の向上と防犯活動の活性化をさせるため、「伊勢市自主防犯団体連絡会」の総会を開催し、年間事業計画を策定した。

- 開催日 平成27年4月28日（火）
開催場所 伊勢市ハートプラザみその

(6) 「伊勢市自主防犯団体連絡会講演会」の開催

住民のみなさんに防犯意識を高めていただき、地域ぐるみで防犯活動に取り組むことで、より安全で安心なまちをめざすための講演会を開催した。

- 開催日 平成27年4月28日（火）
開催場所 伊勢市ハートプラザみその

- 第1部 演 題 わが町桜島、自主防犯活動の紹介
講 師 県営桜島第一自治会長兼桜島地区パトロール隊代表 栗木 健一 氏

第2部 演 題 地域と私たちで取り組む防犯活動

講 師 四日市大学地域パトロール部長 室田 直哉 氏

第3部 伊勢安土桃山文化村劇団員による「特殊詐欺の寸劇」

参 加 者 約220名

(7) 伊勢市制施行10周年記念「防犯ボランティア講習会」の開催

伊勢市制施行10周年記念事業として、市内の自主防犯団体に記念防犯ベストを贈呈し、市民の防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の推進を図ることを目的に講習会を開催した。

開 催 日 平成27年8月12日（水）

開催場所 伊勢市ハートプラザみその

・10周年記念防犯ベスト贈呈式

・演 題 『安心・安全なまちづくりへの取り組み』

講 師 星見ヶ丘区連合会 会長 嶋田一恵 氏

・三重県警察音楽隊による演奏・寸劇

参 加 者 約200名

(8) 全国地域安全運動における「安全安心まちづくり訪問型防犯診断及び防犯研修会」の開催

伊勢警察署が主催で、伊勢度会地区生活安全協会・伊勢市・伊勢市自主防犯団体連絡会が共催し、基調講演を開催した。

開 催 日 平成27年10月13日（火）

開催場所 伊勢市ハートプラザみその

・訪問型防犯診断

・演 題 犯罪情勢を踏まえた防犯講話

講 師 伊勢警察署 生活安全課長 深田 元彦 氏

・演 題 侵入窃盗など被害防止策

講 師 三重県防犯設備協会 宮嶋 浩一 氏

・伊勢安土桃山文化村劇団員による特殊詐欺被害防止寸劇

参 加 者 約200名

(9) 危険箇所等の情報提供及び対応

警察等からの不審者情報や振り込め詐欺情報を自主防犯団体や関係機関へ情報提供し、パトロール活動や注意喚起を要請した。

2 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

自治会が実施する防犯灯の整備に対し、「伊勢市防犯灯整備事業補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯灯助成金交付要綱」に基づき補助金及び助成金を交付することにより、地域の防犯環境の整備を支援した。

・防犯灯新設 98灯（旧伊勢81灯、旧二見9灯、旧小俣6灯、旧御薊2灯）

- ・防犯灯修繕 1,788灯（旧伊勢1,364灯、旧二見94灯、旧小俣176灯、旧御菌154灯）
- ・LED取替 1,469灯（旧伊勢1,065灯、旧二見119灯、旧小俣217灯、旧御菌68灯）
- ・防犯灯電気代 12,985灯（旧伊勢9,511灯、旧二見837灯、旧小俣1,823灯、旧御菌814灯）

3 防犯パトロールの実施

児童・生徒に対して登下校時に発生している不審者による声かけ事案等からの被害防止を図るため、防犯パトロールを実施した。

内 容 市内全小中学校周辺及び不審者出没地域を重点に、下校時にあわせて青色回転灯装着車でパトロールを行った。

○ 危機管理関係

1 不当要求行為関係

不当要求防止責任者である各所属長を対象に研修を開催し、不当要求等に組織で対応すること等を指導した。また、三重県公安委員会による責任者講習会を受講させた。

開催年月日	内 容	対象者	参加人数
27. 5. 13	不当要求対応研修 平成27年度に所属長へ昇格した職員を対象に開催した。	新規所属長	8名
28. 1. 12	不当要求防止責任者講習会 三重県公安委員会による責任者講習会を受講した。	責任者講習会未受講の各部課長	8名

2 伊勢志摩サミット対策関係

(1) 伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議安全対策推進部会の開催

伊勢志摩サミットの円滑な実施を図るために設置した「伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議」に、安全対策を推進するため「安全対策部会」を組織した。

- ・開催日 平成27年10月16日（金）、12月21日（月） 2回開催
- ・内 容 テロ等緊急事態の備えについて
市役所等公共施設危機対応マニュアルについて 等

(2) テロ対策伊勢地区パートナーシップへの参加

テロを未然に防止するため、関係機関・団体、民間事業者、地域住民等が緊密に連携して、恒常的なテロ対策を推進することを目的に設置された「テロ対策伊勢地区パートナーシップ」に参加した。

- ・活動内容 テロの未然防止に向けた構成員相互の情報共有
危機管理意識の高揚及び自主警備体制の強化
各構成員における即応体制、通報連絡体制の確立 等

防 災 施 設 整 備 課

○ 避難所等整備事業

1 津波避難施設整備

津波の浸水が予測される避難困難地に津波避難施設関連の整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町西地内	(注1)(注3) 二見町西津波避難施設用地造成設計業務委託	造成実施(詳細)設計 一式 擁壁補強土予備設計 1か所 L型擁壁詳細設計 一式 スウェーデン式サウンディング 一式 各種申請書作成 一式	円 7,155,000	26.11.28	27.6.30
磯町内	(注1)(注4) 磯町津波避難施設(マウンド)設計業務委託	造成実施(詳細)設計 一式 擁壁補強土予備設計・擁壁構造比較検討 1か所 重力式擁壁設計 一式 既設堤体の解析 一式 付帯建築物設計 一式 各種申請書作成 一式	11,722,320	26.11.28	27.10.30
西豊浜町地内ほか	小川町民会館等避難階段設置工事設計業務委託	小川町民会館及び御菌中学校鉄骨避難階段	1,188,000	27.4.10	27.7.31
二見町西地内	(注2) 二見町西津波避難施設新築工事設計業務委託	津波避難施設鉄筋コンクリート造 1,100㎡程度	5,159,160	27.5.22	27.12.15
大湊町地内ほか	津波避難施設消防用設備保守点検業務委託	機器点検・総合点検 一式	86,400	27.6.23	28.1.12
東豊浜町内	東豊浜町津波避難施設用地測量業務委託	用地測量 0.15ha 基準点測量 2点 現地測量 一式	1,240,920	27.11.24	27.12.16
二見町今一色地内	二見町今一色津波避難施設用地測量業務委託	用地測量 0.26ha 現地測量 一式	1,509,840	27.12.25	28.3.15
計	7件	—	28,061,640		

(注1) 平成26年度から一部繰越

(注2) 平成26年度から繰越

(注3) 下水道建設課施行

(注4) 農林水産課施行

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
大湊町内 大地	(注1)(注5) 大湊町津波避難施設 用地舗装工事	アスファルト舗装工 2,696 m ² 側溝工 12m 集水柵工 2基 照明設備工 4基 車止め工 9基	円 19,902,240	26.12.19	27.4.3
〃	(注1)(注5) 大湊町津波避難施設 用地防火水槽設置 工事	耐震性防火貯水槽 (40 m ³) 1基	6,645,240	26.12.19	27.4.3
一色町内 地	(注1)(注5) 一色町津波避難施設 用地造成工事	現場打ち擁壁 29m プレキャスト擁壁 128m 側溝工 87m 集水柵工 2か所	28,603,800	26.12.19	27.4.15
有滝町内 地	有滝町津波避難施設 新築工事	津波避難施設 鉄筋コンクリート造3階建 建築面積 368.57 m ² 延べ面積 836.32 m ² 有滝町民会館 建具改修 一式	168,480,000	27.7.8	28.2.29
一色町内 地	(注2) 一色町津波避難施設 新築工事	津波避難施設 鉄筋コンクリート造3階建 建築面積 643.09 m ² 延べ面積 1,102.58 m ²	312,575,760	27.7.8	28.3.15
磯町内 地	御蘭中学校屋外階段 設置工事	鉄骨階段設置 一式	4,258,440	27.7.10	27.8.31
二見町西 地内	西クリーンセンター 解体工事	解体撤去工事 一式 土留工事 一式	70,576,920	27.10.2	28.3.16
西豊浜町内 地	小川町民会館外付 避難階段等設置工事	鉄骨階段設置 一式	17,214,120	27.10.9	28.1.6
村松町内 地	(注2) 村松町津波避難施設 給水引込工事	給水引込(水栓設置) 一式	378,000	27.11.6	27.11.25
二見町西 地内	(注3) 二見町西津波避難施設 用地造成工事	アスファルト舗装工 346 m ² 擁壁工 93m 側溝工 104m 管渠工 3m 集水柵工 4か所	23,011,560	27.12.11	28.5.24
一色町内 地	(注6) 一色8号線道路舗装 工事	施工延長 360m アスファルト舗装工 1,516 m ² 区画線工 577m	2,403,000 【契約額】 7,135,560 [基盤整備課] 4,732,560 [防災施設整備課] 2,403,000	27.12.11	28.3.30

御 菌 町 王 中 島 地内ほか	避難所看板設置工 事	避難所看板設置 8 か所	円 2,685,960	27.12.25	28. 3.15
磯 町 地 内	(注4) 磯町津波避難施設 (マウンド) 整備 工事	盛土工 一式 アスファルト舗装工 1,508 m ² 擁壁工 145m 側溝工 418m 集水柵工 17 か所	(注7) 125,820,000	28. 1. 8	28.12.12
有 滝 町 地 内	有滝町民会館避難 通路整備工事	アスファルト舗装工 123 m ²	702,000	28. 2.25	28. 3.15
大 湊 町 地 内	蹴破戸設置工事	明神ポンプ場 蹴破戸設置 1 か所	155,520	28. 3. 1	28. 3.25
計	15 件	—	783,412,560		

【10万円以下の工事】 村松町地内 北浜小学校避難階段進入口修繕工事ほか1件 172,800円

(注1) 平成26年度から一部繰越

(注2) 平成26年度から繰越

(注3) 平成28年度へ繰越

(注4) 平成27・28年度継続費

(注5) 基盤整備課施行

(注6) 基盤整備課へ執行委任

(注7) 平成27年度分 33,971,400円

(3) 用地取得

場 所	事 業 名	筆数	面積	金額
磯 町 地 内 ほか	津波避難施設用地	筆 7	m ² 4,863.45	円 37,800,549

2 地震自動解錠付防災ボックスの設置

津波の浸水が予測されている地域で新たに避難所の協定を締結した施設に対し、24時間いつでも建物内への避難が可能となるように、震度4以上の地震を感知した時に解錠する防災ボックス（鍵ボックス）を設置した。

設置場所	金額
学校法人みどり学園 ゆたか幼稚園（計1か所）	円 232,200

○ 防災センター新設事業

1 防災センター新設

地域防災力の向上を図るため、消防・防災に関する知識と技術を学べる防災センターの整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
楠部町地内	(注1)(注2) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新設工事監理業務委託	消防・防災センター棟 鉄筋コンクリート造 4階建 免震構造 車庫・訓練棟 鉄骨造 4階建 耐震構造 延べ面積 5,960.01 m ²	円 (注3) 22,122,720	26. 7. 11	27. 11. 27
〃	(注4) 伊勢市防災体験学習室(仮称)展示制作業務	映像展示ゾーン 避難体験ゾーン 救命講習体験ゾーン 災害救出ゾーン 消火体験ゾーン 防災グッズ展示・体験ゾーン ガイダンスゾーン その他	37,800,000	27. 6. 15	28. 1. 29
計	2件	—	59,922,720		

(注1) 消防総務課へ執行委任、建築住宅課施行

(注2) 平成26・27年度継続費

(注3) 防災センター分 7,539,000円

(注4) 消防総務課へ執行委任

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
楠部町地内	(注1)(注2) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新設工事(建築工事)	消防・防災センター棟 鉄筋コンクリート造 4階建 免震構造 車庫・訓練棟 鉄骨造 4階建 耐震構造 延べ面積 5,960.01 m ² 建築工事 一式	円 (注3) 1,520,640,000	26. 7. 9	27. 11. 16
〃	(注1)(注2) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新設工事(電気設備工事)	消防・防災センター棟 鉄筋コンクリート造 4階建 免震構造 車庫・訓練棟 鉄骨造 4階建 耐震構造 延べ面積 5,960.01 m ² 電気設備工事 一式	(注4) 443,232,000	26. 7. 9	27. 11. 16

楠部町内	(注1)(注2) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新設工事 (機械設備工事)	消防・防災センター棟 鉄筋コンクリート造 4階建 免震構造 車庫・訓練棟 鉄骨造 4階建 耐震構造 延べ面積 5,960.01 m ² 機械設備工事 一式	円 (注5) 363,204,000	26. 7. 9	27. 11. 16
〃	(注1) 伊勢市消防・防災センター(仮称)電話交換機等導入工事	電話交換機電源装置 共 一式 保守コンソール 一式 電話機 113台 構内配線工事 一式	(注6) 8,100,000	27. 12. 25	28. 3. 15
計	4件	—	2,335,176,000		

(注1) 消防総務課へ執行委任、建築住宅課施行

(注2) 平成26・27年度継続費

(注3) 防災センター分 439,959,600円

(注4) 防災センター分 138,336,120円

(注5) 防災センター分 118,869,120円

(注6) 防災センター分 1,755,463円